

令和2年度(2020年度)

病虫害発生予察情報 第4号

4月月報

北海道病虫害防除所 令和2年(2020年)5月19日

http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/
Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

— 『並温・並雨(少雪)・並照』月を通すと並温だが、中旬から下旬は断続的に寒気流れ込む。—

この期間の天気は、上旬と下旬は低気圧や気圧の谷の影響で雨や雪の降った日が多かった。中旬は高気圧の張り出しの中となつて晴れた日が多かったが、20日は低気圧の影響により大雨となつた所もあった。気温は上旬は高く、月平均気温は平年並だった。降水量は上旬は平年よりかなり多く、中旬は少なく、月降水量は平年並だった。日照時間は上旬は平年より少なかったが、中旬はかなり多く、下旬は少なく、月間日照時間は平年並だった。降雪量は、中旬と下旬は平年より少なく、月降雪量も少なかった。

上旬：1日ははじめ高気圧の張り出しの中となつて日本海側を中心に晴れたが、気圧の谷の接近により太平洋側を中心に雨が降った。2日は低気圧の影響により曇りで、太平洋側を中心に雨の降った所が多かった。3日は高気圧の張り出しの中となつて全道的に晴れた。4日ははじめ高気圧の張り出しの中となつて晴れたが、次第に前線を伴った低気圧が接近し雨や雪の降った所が多かった。5～6日は低気圧や気圧の谷の影響で雨や雪の降った所が多かったが、晴れた所もあった。7日は気圧の谷の影響で、日本海側では雨や雪の降った所が多かったが、太平洋側では晴れた所が多かった。8日は気圧の尾根の中となつて晴れた所が多かったが、低気圧の接近により、夜には雨や雪の降った所があった。9日は低気圧を含む気圧の谷の影響で、雪や雨の降った所が多かった。10日は低気圧を含む気圧の谷の影響で雨や雪の降った所が多かったが、晴れた所もあった。

中旬：11日は気圧の谷の影響で雪や雨の降った所があったが、晴れた所もあった。12～13日は高気圧の張り出しの中となつて広い範囲で晴れたが、12日は気圧の谷の影響で太平洋側では雪や雨の降った所もあった。14日は気圧の尾根の中となつて広い範囲で晴れたが、オホーツク海側や太平洋側東部では曇った所が多かった。15日は気圧の谷の影響で雨や雪の降った所があったが、晴れた所もあった。16～19日は高気圧の張り出しの中となつて広い範囲で晴れたが、18日は低気圧の接近により太平洋側西部では雨の降った所もあった。20日は低気圧の影響により広い範囲で雨が降り、大雨となつた所もあった。日降水量は登別市カルルスで108.0mmなど。

下旬：21日は低気圧の影響で雨の降った所が多かったが、晴れた所もあった。22日は低気圧の影響で日本海側を中心に雨や雪の降った所があったが、晴れた所もあった。23日は低気圧を含む気圧の谷の影響で広い範囲で雪や雨が降った。24日は気圧の尾根の中となつて広い範囲で晴れたが、日本海側を中心に雨や雪の降った所もあった。25日ははじめ晴れた所もあったが、前線を伴った低気圧の接近により広い範囲で雨が降った。26日は前線を伴った低気圧が通過した影響により広い範囲で雨が降った。27日は気圧の谷の影響で広い範囲で雨が降ったが、晴れた所も多かった。28日は高気圧の張り出しの中となつて広い範囲で晴れたが、気圧の谷の影響で雨の降った所も多かった。29日は気圧の谷の影響で広い範囲で雨が降った。30日は高気圧の張り出しの中となつて広い範囲で晴れたが、日本海側南部や太平洋側西部では雨の降った所があった。

気候表(気温は平年差(°C)、降水量・日照時間・降雪量は比(%))を示す)

	気温偏差°C	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22地点平均	-0.3	並	104	並	103	並
日本海側10地点平均	-0.4	並	98	並	108	多
オホーツク海側4地点平均	-0.5	並	109	並	100	並
太平洋側8地点平均	0	並	110	並	98	並

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1981～2010の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。
なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

II. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0のみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

A. 秋まき小麦

1. 雪腐病 発生量 少

予察ほにおける根雪始は、長沼町、訓子府町では平年より遅く、芽室町では平年より早かった。融雪期は、長沼町および訓子府町では平年より早く、芽室町では平年よりやや早かった。積雪期間は長沼町および訓子府町では短く、芽室町では平年より長かった。

主力品種「きたほなみ」における雪腐病の発病度は、長沼町および芽室町では平年より低く、訓子府町では平年並だった。病原菌種割合は、長沼町では紅色雪腐病、芽室町では紅色雪腐病、雪腐大粒菌核病、訓子府町では雪腐大粒菌核病が主体だった。

一般ほにおける発生面積率、被害面積率はともに平年より低かった。被害の認められた空知、石狩および上川地方では褐色雪腐病の割合が高かった。オホーツク地方では紅色雪腐病の割合が高く、十勝地方では一部の地域でスッポヌケ症の発生が認められた。

予察ほにおける積雪状況

地点	根雪始		融雪期		積雪期間(日)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
長沼町	12月18日	12月8日	3月21日	4月1日	94	115
芽室町	11月18日	12月3日	3月31日	4月5日	134	124
訓子府町	1月20日	12月4日	3月21日	4月1日	61	119

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	発病度		平年数
		本年	平年	
長沼町	チホクコムギ	16.6	20.4	10
	きたほなみ	5.8	12.3	10
芽室町	チホクコムギ	14.7	31.3	10
	きたほなみ	9.2	29.0	10
訓子府町	チホクコムギ	42.0	37.2	10
	きたほなみ	27.0	26.8	10

予察ほにおける病原菌種別発生割合(%)

地点	長沼町				芽室町				訓子府町			
	チホクコムギ		きたほなみ		チホクコムギ		きたほなみ		チホクコムギ		きたほなみ	
品種名	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
雪腐大粒菌核病	0	0	0	0	65	10	38	10	100	19	100	22
雪腐黒色小粒菌核病	0	7	0	4	0	26	11	19	0	45	0	42
雪腐褐色小粒菌核病	72	73	30	61	0	27	0	9	0	2	0	2
紅色雪腐病	21	10	70	22	35	37	51	63	0	33	0	35
褐色雪腐病	7	11	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0

一般ほにおける発生状況(振興局別調査結果)

振興局	作付面積(ha)	発生面積率(%)		被害面積率(%)		発生ほの病原菌種別発生割合(%)					
		本年	平年	本年	平年	大粒	褐小	黒小	紅色	褐色	その他
空知	14,295	18.9	40.5	1.7	8.1	0	44.2	7.7	8.7	39.4	0
石狩	6,371	38.3	54.1	6.5	14.2	0	59.7	8.7	8.4	23.2	0
後志	1,054	20.0	54.9	0.4	2.4	0	67.4	15.4	16.4	0.8	0
胆振	1,271	1.0	11.9	0	0.7	0	30.8	20.0	49.2	0	0
檜山	565	12.7	19.3	0	0.4	0	80.0	2.5	17.5	0	0
上川	11,028	45.9	61.4	6.7	15.3	0	9.0	9.7	15.3	66.1	0
留萌	782	17.9	60.1	0	17.6	0	68.1	1.0	24.1	6.8	0
オホーツク	23,580	3.3	36.5	0.0	4.2	10.1	4.5	18.4	67.0	0	0
十勝	41,368	1.7	19.7	0.0	1.6	1.7	0.6	39.2	12.4	0.4	45.7
全道計	100,314	12.1	34.9	1.4	5.0	0.7	28.5	11.3	15.8	41.2	2.6

注) 大粒：雪腐大粒菌核病、黒小：雪腐黒色小粒菌核病、褐小：雪腐褐色小粒菌核病、紅色：紅色雪腐病、褐色：褐色雪腐病、その他：スッポヌケ症

2. 赤さび病 発生期 早 発生量 並

予察ほにおける「きたほなみ」の初発日は長沼町および芽室町では平年より早かった。訓子府町では発生を認めていない。発生量は各地点とも平年並であった。

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	初発日		病斑面積率(%)*		平年数
		4月6半旬		4月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	4月15日	4月29日	0.00	0.02	10
芽室町	きたほなみ	4月21日	5月12日	0.00	0.01	10
訓子府町	きたほなみ	未発生	5月15日	0	0.00	10

注)*: 全葉調査の平均値

3. うどんこ病 発生期 やや早 発生量 並

予察ほにおけるうどんこ病抵抗性“弱”品種「チホクコムギ」の初発日は、長沼町および芽室町では平年より早く、訓子府町では平年より遅かった。発生量は長沼町ではやや少なく、芽室町では平年並、訓子府町では平年より少なかった。主力品種「きたほなみ」において、長沼町で平年より早く初発を認めた。

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	初発日		病斑面積率(%)*		平年数
		4月6半旬		4月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	チホクコムギ	4月20日	4月30日	0.05	0.23	10
	きたほなみ	4月30日	5月9日	0.00	0.00	10
芽室町	チホクコムギ	4月21日	4月30日	0.08	0.03	10
	きたほなみ	未発生	5月15日	0	0.01	10
訓子府町	チホクコムギ	5月8日	5月1日	0	0.21	10
	きたほなみ	未発生	5月7日	0	0.01	10

注)*: 全葉調査の平均値

B. あぶらな科野菜

1. コナガ 発生期 並 発生量 やや多

フェロモントラップによる雄成虫の初誘殺日は、北斗市および滝川市で平年より早く、芽室町で平年よりやや早く、訓子府町で平年並、長沼町および比布町では平年より遅かった。誘殺数は、比布町、芽室町、訓子府町で平年より多く、滝川市では平年よりやや多く、長沼町および北斗市で平年並であった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数と初誘殺日

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町		滝川市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4月4半旬	0	0.7	0	2.5	2	4.0	0	0.2	0	0.1	2	-
5半旬	0	0.8	0	8.3	5	5.1	1	1.0	0	0.2	0	1.0
6半旬	0	1.6	0	10.8	2	4.9	0	0.8	0	0.7	0	1.7
5月1半旬	6	2.1	85	39.8	14	16.8	24	1.7	6	0.7	9	2.3
2半旬	4	10.2	80	20.4	5	29.1	26	2.0	8	0.6	5	4.2
初誘殺日	5月2日	4月21日	5月1日	4月16日	4月4日	4月18日	4月24日	4月28日	5月1日	4月29日	4月19日	4月30日
平年数	10		5		10		10		10		6	

C. りんご

1. ハダニ類 (リンゴハダニ) 越冬卵量 並

予察園の1短果枝当たり越冬卵数は、長沼町(無防除)で0卵(平年:0卵)、余市町(慣行防除)で0卵(平年:0卵)と平年並であった。

2. ハマキムシ類 (ミダレカクモンハマキ) 発生期 やや遅 越冬卵量 やや多

予察園の5年枝3本当たりの越冬卵塊密度は、長沼町(無防除)で0.7卵塊(平年:0.1卵塊)と平年より高かった。余市町A(慣行防除)では0卵塊(平年:0.0卵塊)、余市町B(慣行防除)では0卵塊(平年:0.1卵塊)で卵塊は認められなかった。越冬卵のふ化始は、長沼町では5月7日(平年:5月4日)と平年よりやや遅かった。